

共同利用実施報告書(研究実績報告書)
(災害軽減研究)

1. 課題番号 2014-Y-火山1

2. 研究課題名 (和文、英文の両方をご記入ください)

和文: 伊豆大島テフラの自然残留磁化の基礎研究英文: Fundamental study on natural remanent magnetization of Izu-Oshima tephras3. 研究代表者所属・氏名 熊本大学・望月伸竜(地震研究所担当教員名) 前野深

4. 参加者の詳細 (研究代表者を含む。必要に応じ行を追加すること)

氏名	所属・職名	参加内容
望月伸竜	熊本大学・准教授	試料採取、データ解析、データ検討
長谷川健	茨城大学・准教授	地質調査、試料採取、データ検討
石原祥	熊本大学・大学院生	試料採取、古地磁気測定
前野深	東京大学・助教	情報収集、データ検討

5. 参加者が分担した役割 (200-400 字程度で記入してください)

大島での調査を行うにあたり、大島の火山地質に詳しい研究者の協力を得て、テフラ露頭についての情報収集を行った (長谷川・前野)。調査においては、2枚のテフラおよびそれらに対比される溶岩から定方位試料を採取した (望月・長谷川・石原)。採取したテフラの古地磁気方位測定・データ解析を行った (石原・望月)。得られた古地磁気方位データと従来のデータに基づいて、テフラの残留磁化の性質について検討した (望月・長谷川・前野)。

6. 研究実績 (論文タイトル、雑誌・学会・セミナー等の名称、謝辞への記載の有無)

- ・阿比留拓哉, 渋谷秀敏, 望月伸竜, 弥頭隆典, 宮縁育夫, 阿蘇火山中央火口丘群における火山岩・テフラの古地磁気学的研究, 日本地球惑星科学連合 2014 年大会 (謝辞への記載なし)
- ・長谷川健, 菅谷真奈美, 岡田誠, 望月伸竜, 藤井哲夢, 渋谷秀敏, 下北半島沖海底コア C9001C に挟在する更新世テフラ群の同定口頭発表, 日本地球惑星科学連合 2014 年大会 (謝辞への記載なし)